

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19530547

研究課題名（和文） ターミナルケアにおける医療福祉ニーズの実証的研究

研究課題名（英文） An Empirical Study of Needs for Health, Medical Care and Welfare Services in The Terminal Care

研究代表者

片岡 靖子 (KATAOKA YASUKO)

久留米大学・文学部・准教授

研究者番号：30389580

研究代表者の専門分野：医療福祉学、ソーシャルワーク

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学

キーワード：ターミナルケア・医療福祉ニーズ・地域福祉医療連携・医療ソーシャルワーク実践過程

1. 研究計画の概要

(1)ターミナルケアにおける医療福祉ニーズについてのインタビュー調査の実施

九州県内のターミナルケア調査実施のための予備調査として、ターミナルケアにおける医療福祉ニーズについて、特定機能病院、急性期病院、緩和ケア病院、介護老人保健施設等の医療スタッフ（医師、看護師、OT、PT、介護福祉士、医療ソーシャルワーカー等）を対象にインタビューを実施した。

(2)九州県内におけるターミナルケア実施状況についてのアンケート調査の実施

九州県内の急性期病棟、回復期病棟、緩和ケア病棟、療養病床を持つ医療機関をWAMNETで抽出した1321件の医療機関に対し、「がん患者のターミナルケアに関する調査」を実施した。

調査内容としては、ターミナルの患者の抱える経済的問題、心理的問題、身体的問題、生活上の問題、転院上の問題について問うとともに、ターミナル患者を巡る地域医療福祉連携の課題、スタッフ教育の必要性、ターミナルケアを実施するためのスタッフ教育等について回答を求めた。

(3)ターミナルケアにおける医療ソーシャルワーカー実践事例の収集及び分析

(4)ターミナルケアにおける社会資源調査の実施。

2. 研究の進捗状況

(1)ターミナルケアにおける医療福祉ニーズについてのインタビュー調査

インタビュー結果について内容分析を実施。各医療機関、医療スタッフのインタビューから共通して抽出された医療福祉ニーズは、

- ①在宅ターミナルケアの実施の必要性。
- ②院内外の地域医療福祉連携及びチーム医療の必要性。
- ③医療・福祉専門職へのデス・エデュケーションの必要性。
- ④麻酔科医・精神科医の不足
- ⑤緩和ケア病棟が不足し、待機期間内で死亡される。
- ⑥急性期病棟における平均在院日数短縮化に伴い、ターミナルケア実施が困難となっている。
- ⑦家族介護者の不在
- ⑧在宅ターミナル実施のための開業医不足、社会資源不足

(2)九州県内におけるターミナルケア実施状況についてのアンケート調査の実施

調査結果としては、398件(31.13%)より回答があった。

398件のうち、64%が医療ソーシャルワーカーによる回答であった。また、一般の急性期病院からの回答が半数以上を占めていた。

調査の結果の中で、特徴的であったことは、緩和ケアチームが設置されているとの回答がわずか19%であったことである。さらに、緩和ケアチームに医療ソーシャルワーカーが配置されているのは13%のみであった。

回答の多くが、ターミナルケア期にさまざ

まな心理社会的問題が表出しているとの回答があったものの、緩和ケアチームとして医療ソーシャルワーカーが位置づけられていない実態が提示された。

一方、地域医療連携室を設置している医療機関は回答全体の67%となっており、さらに医療ソーシャルワーカーの配置は79%となっていた。

(3) ターミナルケアにおける医療ソーシャルワーカー実践事例の収集及び分析

定期的な事例検討の開催を実施。事例収集及び分析を実施中である。

(4) ターミナルケアにおける社会資源調査の実施。

各医療機関の医療ソーシャルワーカーにターミナルケア期に活用している社会資源情報の収集分析を実施中である。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している

インタビュー調査及びアンケート調査については、アンケート調査回収がスムーズに実施することができ、順調に進展している。事例収集についても、地域の医療ソーシャルワーカーの協力が得られ、定期的に事例検討開催が実施できている。

4. 今後の研究の推進方策

最終年の本研究年度においては、ターミナルケアにおける医療ソーシャルワーカーの実践モデルの提示と医療圏ごとのターミナルケアにおける社会資源及び地域医療連携モデルの提示を実施する予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計1件)

片岡靖子「ターミナルケアにおける医療ソーシャルワーカーの役割と課題」九州社会福祉学会、2009年12月19日、沖縄。

[その他]

片岡靖子「がん患者のターミナルケアに関する調査報告書」2010年3月。